

平成30年度 第3回 生乳検査外部精度管理調査(体細胞数)

1. 「平均値」は全参加施設の測定値から乖離値(平均値 $\pm\sigma$ 以上)を除いた後の平均値とした。
「標準値」は後述する体細胞数測定国際リングテストに参加し、「良好」との評価を受けた蛍光光学式体細胞数測定機4台による測定値の平均値とした。

体細胞数測定国際リングテストは、世界各国に存在する酪農団体や研究所等で行われている体細胞数測定の精度管理を目的とし、ドイツにある酪農団体MRI(Max Rubner-Institut)が主催している国際的な外部精度管理である。当該事業所の精度確認はもとより事業所間での整合性を図るべく世界規模で参加を促している。平成29年度の参加事業所は16カ国、56事業所におよび、世界的にも広く認知されている。

日本からは毎年当協会および(公社)北海道酪農検定検査協会、東海酪農業協同組合連合会が参加している。

2. 平均値と標準値は以下の通りであった。(単位: $10^3/\text{ml}$)

| 区 分 | 共通試料A | 共通試料B |
|-----|-------|-------|
| 平均値 | 198 | 324 |
| 標準値 | 200 | 330 |

$\pm\sigma$ の範囲のデータから平均値を求めた。

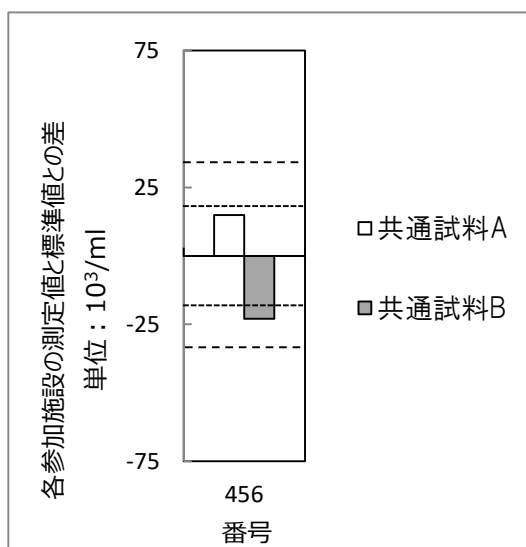
※生乳検査精度管理認証制度の標準値について

認証の標準値については、次のURLからご確認ください。

<http://www.jdta.or.jp/seido3.html#3>

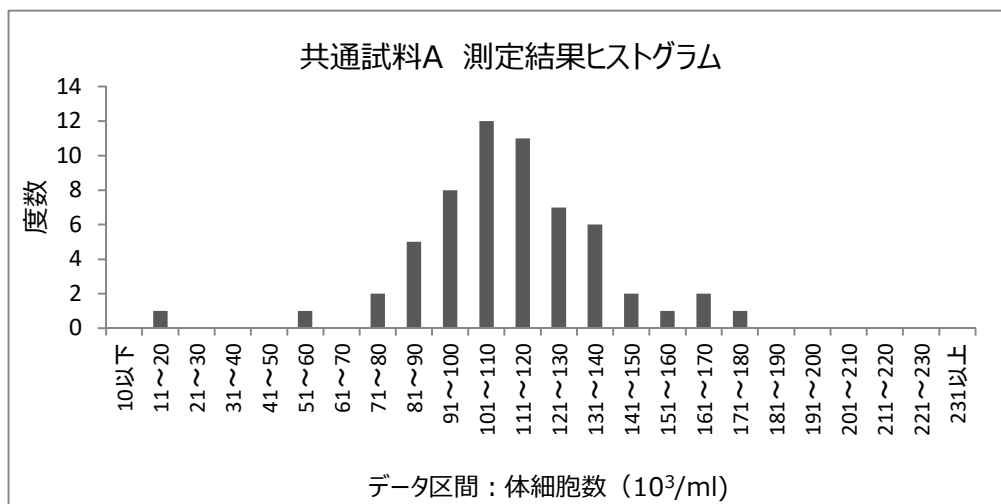
3. 誤差グラフは各参加施設の測定値と標準値との差を測定法別(機器測定、ブリード法)に示した。
4. 誤差グラフの中央線は標準値 (± 0) を示し、上下の点線は標準値の $\pm 10\%$ (相対値)である。

5. 凡例



6. ヒストグラムは全測定値の度数分布をグラフ化したものである。
試料別および測定法別(機器測定、ブリード法)にデータをまとめた。

7. 凡例



8. Z-スコアは各参加施設の報告値、平均値及び標準偏差を基に算出した。Z-スコア
グラフはZ-スコアを昇順に並べ替え、グラフ化した。

9. 凡例

